

令和6年度（2024年度）
第2回 熊本市公民館運営審議会
審議資料

日時：令和7年(2025年) 2月14日（金）10時
場所：熊本市西部公民館 ホール

目 次

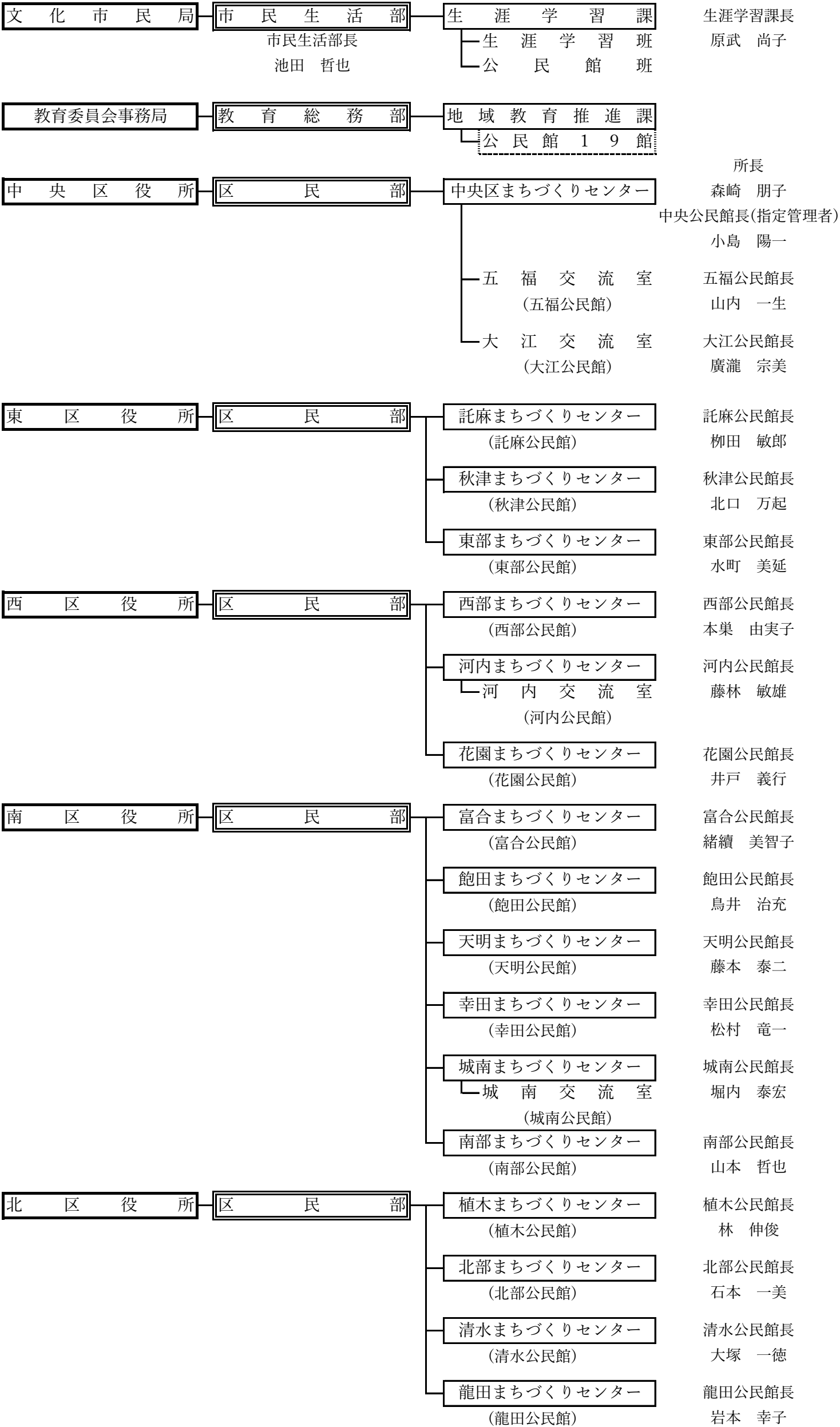
	ページ
熊本市公民館運営審議会委員名簿	1
熊本市公民館関係組織図	2
令和6年度（2024年度）公民館活動について	3
（1）生涯学習の基本理念	
（2）基本施策	
（3）令和6年度の公民館での取組	
（4）公民館での実際の取組	4
（5）各研究グループからの発表	18
（6）令和6年度 人権教育・啓発関連	
「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）	19

熊本市公民館運営審議会 委員名簿

区 分	氏 名	所属団体・役職等
学識経験者	香崎 智郁代	九州ルーテル学院大学人文学科教授
学識経験者	澤田 道夫	熊本県立大学総合管理学部教授
学識経験者	藤井 美保	熊本大学教育学部准教授
学校教育	安達 寿夫	熊本市中学校長会 井芹中学校長
学校教育	穴井 佳典	熊本市小学校長会 龍田小学校長
学校教育	村本 博文	熊本市立幼稚園会 向山幼稚園長
社会教育	境内 優利	熊本市青少年健全育成連絡協議会評議員
社会教育	前出 良三	熊本市地域公民館連絡協議会理事
家庭教育	郷原 久美子	熊本市子ども会育成協議会副会長
家庭教育	清水 妃文	家庭教育学級長（画図小学校）
家庭教育	栢木 孝一	熊本市民生委員児童委員協議会副会長
家庭教育	原田 英之	熊本市 P T A 協議会 常任理事
家庭教育	福島 貴志	熊本市ボランティア連絡協議会副会長
社会教育	城島 理子	市民公募

任期：令和 5 年（2 0 2 3 年）6 月 1 日から令和 7 年（2 0 2 5 年）5 月 3 1 日

熊本市公民館関係組織図



Ⅰ 令和6年度(2024年度)公民館活動について

(1) 生涯学習の基本理念 *第2次熊本市生涯学習推進計画より

**「学びと活動の循環」による、
市民一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる社会の実現**

昨今の社会の変化に対応し、市民一人ひとりが心豊かな人生を送るためには、生涯にわたって学び続けることが重要である。

そして、今後は学んだ成果を適切に生かすことのできる社会の実現が求められている。

これまでも、生涯学習による「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」という「学びと活動の循環」の仕組みを構築し、市民一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会を目指してきたが、今後もその重要性は変わらないものと考えており、社会の変化を踏まえて、より効果的な「学びと活動の循環」の仕組みに改善していく必要がある。

(2) 基本施策

①市民が学ぶ楽しさを実感できる学習機会の提供

市民一人ひとりの生涯学習を推進するためには、学習できる環境の整備と提供する学習内容の充実が必要である。

そこで、学習環境の整備として民間事業者や大学との連携強化、デジタル化の推進など、市民が学習しやすい環境をつくる。

また、学習内容を充実させるため、ライフステージ、現代的・社会的な課題や市民ニーズに対応する学習機会と学習内容の充実を図っていく。

②生涯学習とつながる社会参加の機会の充実

人生100年時代の中で、一生を通して学び続けることが必要な時代になっている。自ら学んだ成果が適切に評価され、他者に発表する機会を得られることは、新たな気づきや刺激になるとともに、次の学びへの意欲の向上につながる。

さらには、学んだ成果が地域に還元されることで、地域社会全体の教育力の向上にも貢献するというように、地域における「学びと活動の循環」が形成される。

このため、学んだ成果を適切に生かすことができる社会づくりを進めていく。

併せて、複雑化・多様化した地域課題解決に対応するために、地域住民と多様な活動主体がつながり、課題を共有し、解決策を検討していくためのネットワークを構築する。

(3) 令和6年度の公民館での取組

基本施策を推進していくために本市公民館では、下記の事項を中心に地域の実情に応じた取組を実践していく。

① 多様な主体との連携協働の推進

・大学等の教育機関をはじめ、関係団体、民間事業者等と連携することにより、市民の多様化する学習ニーズに応じた学びの場を提供する。

② デジタル化の推進

- ・デジタルディバイド解消を含め、あらゆる市民がデジタル化の恩恵を享受できるような事業に取り組む。

③ 持続可能な地域づくりの推進

- ・地域の歴史や文化などの財産を共有し、それを活かした持続可能な未来の姿を住民自らが考え、実現するための取組を支援する。
- ・世代のつながりを重視した多世代交流型の事業の充実を図る。

④ 人材やボランティアの養成・活用

- ・地域づくりの担い手になる人材育成に積極的に取り組むとともに、地域活性化に取り組む民間等の人材との連携・協働を図る。
- ・幼少期から地域の愛着を育む事業を展開し、参加した青少年や若年層を積極的に活用する。

⑤ 健康づくりと生きがいの充足

- ・高齢者が健康で自立して暮らしていくための学習や活動、つながりづくりに取り組む。
- ・豊かな知識・技術・経験を有する高齢者の活躍の場や機会を創出する。

⑥ 家庭教育と青少年健全育成の支援

- ・家庭教育に関して、親同士の学びあいを促進する。（家庭教育学級ほか）
- ・子どもが主体となるような様々な体験活動の場を設け、異年齢の子ども同士の交流を図る。
- ・地域特性に応じた文化・自然・社会体験を含む学習機会を、すべての子どもたちに提供していく。

⑦ 地域学校協働活動の推進

- ・地域学校協働活動に携わる地域住民の学びや住民同士のつながりづくりに積極的に関わりながら、学校と連携・協働して「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進する。

⑧ 地域の防災力の向上

- ・地域の防災・減災力を高めるための学びの場をつくり、地域の防災組織の学習の支援、地域の防災士等のボランティアとの連携、自主防災組織との連携などを通じて、だれもおきざりにしない地域防災の活動の支援、促進を行う。

⑨ 共生社会の実現（人権意識の向上）

- ・性別、障がいの有無、病気、国籍、年齢などに関係なく、一人ひとりの人権が尊重され、互いの生き方を認め合うとともに、多様な考え方が活かされる社会を実現するために、学級・講座の開設や交流活動など人権に関する多様な学習機会を提供する。

(4) 公民館での実際の取組

① 多様な主体との連携協働の推進

大学等の教育機関をはじめ、関係団体、民間事業者等と連携することにより、市民の多様化する学習ニーズに応じた学びの場を提供する。

〈五福公民館〉

項 目			講 座 名
①	④		the SHot!と踊るキッズよさこい教室
日 時			令和6年8月25日(日) 午後2時～午後4時
場 所			五福公民館 ホール
対 象			(参加者数25人)
ねらい／内容			熊本市を中心に活動している社会人よさこい団体「the SHot!(ざしょつと!)」と連携して、地域のこどもたちのつながり作りに取り組んだ。市内で活動する団体の支援とこどもたちの多様な体験作りをねらいとした。
参加者の反応 感想等			こどもたちは楽しくよさこい踊りに親しんでいた。若者たちからは「公民館が気軽に利用できることがわかってよかった」等の感想をもらった。



〈北部公民館〉

項 目			講 座 名
①	⑨		ハートフル学習ルーム
日 時			令和6年(2024年)5月～令和7年(2025年)2月 全5回 午後7時～8時半
場 所			北部公民館 大会議室
対 象			どなたでも(参加者数 各回約30人)
ねらい／内容			旅のよろこび株式会社との共催。「いれずみについての日本人のまなざしについて」、「場面緘黙の世界」、「全盲のヨットセーラーの生き方に学ぶ」、「化学物質過敏症と、これからの地域社会」、「元受刑者の社会復帰支援と障がい者の暮らし支援」等、現代社会の「人権」にかかわる課題を中心に提起し参加者とともに、何ができるのかを考える場とする。
参加者の反応 感想等			どの回も、参加者は、自分のくらしと重ねながら、しっかりと講師の話に耳を傾け、座談の時には、自分の思いや考えを講師と語り合う、とても有意義な場となっていた。どの回も、ハートフル学習ルームに参加してよかったとの声を多く聞いている。



場面緘黙の世界から

〈龍田公民館〉

項 目			講 座 名
①	⑥		崇城大学で学ぼう～芸術コース～「消防車」を描いてみよう！
日 時			令和6年8月20日(火) 午前10時～正午(全1回)
場 所			崇城大学 池田キャンパス
対 象			小学5～6年生(参加者数13人)
ねらい／内容			崇城大学芸術学部美術学科及びデザイン学科の講師(8名)が、小学5～6年生に、絵を描くことの楽しさを丁寧に教える。参加したこどもたちは、消防車のまわりで、思い思いの場所に座り、熱心に黙々と消防車を描いていた。
参加者の反応 感想等			崇城大学のキャンパスで、講師陣に見守られながら、専門の画材を使用する大変恵まれた環境のもと、あっという間の2時間を過ごした。講座後のアンケートには、すべてのこどもたちが「(とても)おもしろかった」と答え、大満足していた。



〈花園公民館〉

項 目			講 座 名
①	③	⑤	お出かけ公民館講座 親子陶芸教室体験
日 時			令和6年 8月4日(日) 午前9時～正午
場 所			花園陶芸教室
対 象			小学生とその保護者 (10組)
ねらい／内容			地域にある陶芸教室で学ぶ講座生が講師となり、夏休みの企画として、自宅や学校でできない体験をする機会として計画した。親子のふれあいだけでなく、地域にある社会教育施設についての見識を深めることもできた。
参加者の反応 感想等			体験する機会の少ない陶芸を親子で地域の方々と体験するという貴重な体験ができた。また、完成した作品を公民館内に展示することで、学びをアウトプットするだけでなく、社会教育施設と関わりも深めることができた。



②デジタル化の推進

デジタルディバイド解消を含め、あらゆる市民がデジタル化の恩恵を享受できるような事業に取り組む。

〈中央公民館〉

項 目			講 座 名
②	③	⑦	高校生による高齢者のスマホ教室
日 時			令和6年7月19日(金) 午前10時～正午 全1回
場 所			中央公民館5F中会議室
対 象			60歳以上(参加者数 26人)
ねらい／内容			高校生に尋ねたり教えてもらったりする活動を通し、高齢者も知っておいたら便利なスマホの使い方を学ぶとともに、高齢者と高校生が楽しく交流する会にする。高齢者も知っておきたいスマホの使い方の基礎を高校生から学んだ。
参加者の反応 感想等			高校生ボランティアによる、親切かつわかりやすい指導により、基本操作を学ぶことができ、自信が持てたようだった。若い世代との交流も、高齢者にとって新しい発見や学びを深める素晴らしい機会となっていた。講座全体の雰囲気や和やかで、参加者からも好評を得ていた。



〈託麻公民館〉

項 目			講 座 名
②	⑥	⑦	合同家庭教育学級「スフィロボルトを使って親子でプログラミング」
日 時			令和6年7月31日(水) 午前10時～正午 (全1回)
場 所			託麻公民館 ホール
対 象			(参加者数 28人)
ねらい／内容			学校のタブレットを使って、親子でプログラミングの学習をする講座。教育センターの協力のもと、授業で使用することもあるボール型のロボット「スフィロボルト」を用いて、親子で楽しくプログラミングを体験する。
参加者の反応 感想等			自分の指示通りにボール型のロボットが動くので、指示が適切かどうかすぐわかる。色や音を工夫しながら自分の思い通りにボールを動かすよう、試行錯誤してプログラミングに熱中していた。もっとやりたいとの声が多数あがった。



〈秋津公民館〉

項 目			講 座 名
②	④	⑥	スマホお悩み相談室
日 時			令和6年8月22日(木)・9月5日(木) 午後1時30分～2時30分 (全2回)
場 所			秋津公民館 C会議室・A会議室
対 象			どなたでも(参加者数 3人・8人)
ねらい／内容			スマートフォンの操作に不慣れな方を対象にインターンシップにきている高校生とナイスライにきている中学生が分かる範囲でお手伝いをした。二次元コードを読み取って申し込みをする方法やラジオの聞き逃し配信を聞く方法など個別のお悩み相談に応えた。
参加者の反応感想等			参加者からは「自分の分からないことを個別に教えてもらってよかった」「ぜひまた定期的に行ってほしい」という声が多かった。また、世代間交流もでき、中高生からは「自分が人の役に立てたことがうれしかった」といった感想も聞かれた。



〈河内公民館〉

項 目			講 座 名
①	②	⑨	オンラインでつながろう
日 時			令和6年5月25日～令和7年3月27日 午前10時～11時 木曜日・全11回
場 所			河内公民館、参加事業所(オンライン)
対 象			(1回の平均参加者数80人程度)
ねらい／内容			施設に入所されていたり、普段公民館に來れない方々もオンラインで結び、交流や健康増進の機会としている。内容は、体操、動画視聴、歌などであるが、7、8月は、中学生も参加し、学校紹介や簡単な交流を行った。
参加者の反応感想等			参加者は、体操や歌など楽しまれていると施設職員より伺っている。普段の生活の中で、小イベントになっている様子である。夏休みに参加した中学校の先生からは、生徒が人前で発表したり、高齢者の方々と接する良い機会だったとの感想があった。



③持続可能な地域づくりの推進

- ・地域の歴史や文化などの財産を共有し、それを活かした持続可能な未来の姿を住民自らが考え、実現するための取組を支援する。
- ・世代のつながりを重視した多世代交流型の事業の充実を図る。

〈城南公民館〉

項 目			講 座 名
①	③	④	城南町の民話を楽しむ
日 時			令和6年4月14日(日)～3月16日(日) 午前10時～11時 (全10回)
場 所			城南公民館 視聴覚室
対 象			(参加者数20人)
ねらい／内容			「じょうなん民話の会」が中心となり、城南町や周辺地域に語り継がれている伝承や逸話を会員相互で研鑽し発表している。毎回、それぞれの担当話を練習して、語りを中心に披露している。
参加者の反応感想等			城南町及び周辺の方々の参加者も地元の伝承・逸話に興味関心を持って聞き入り、地元の歴史に親しみ、郷土愛を育むことに繋がっている。



〈幸田公民館〉

項 目				講 座 名		
①	③	④	公園で“わくわく”するイベント空間づくり大作戦【まちづくり班との協働事業】			
日 時			令和6年10月12日(土) 午前10時～午後12時30分 全1回			
場 所			熊本市 御幸中央公園			 
対 象			(参加者数 600人)			
ねらい／内容			スタッフは幸田管内小・中学校の親児の会、PTA、地域企業、託麻中学校の生徒が担った。「こども向けのイベントを開催し、地域コミュニティの活性化(人・つながり・地域づくり)を図ること。『まちづくり活動』によって、地域の課題解決の第1歩にすること。取組によって、コミュニティの活性化を図ること」を目指した。現状は、まちづくり活動に関心を抱く住民が多くないため、この活動に関心を持ってもらうよう、イベント開催をきっかけ作りとして、地域住民やその他多様な主体(企業等)を巻き込むようまちづくり班と協力した。			
参加者の反応感想等			管内の幼・保育園や小・中学校にも声かけや開催チラシを配布したので、600人を超える参加があった。各ブースとも楽しめる内容だったので、何回も参加していた。「自宅からも近い公園でこどもが楽しめるイベントがあり、良かった」「広い公園で、色々な種目を体験でき、こどもも満足していた」との感想が聞かれた。来年も秋に開催予定である。			

〈南部公民館〉

項 目			講 座 名
①	③	⑤	大学生チャレンジ「モルック&ボッチャ体験」
日 時			令和 6年 9月 22日(日) 午後 1時～3時 全1回
場 所			南部公民館 ホール
対 象			(参加者数 50 人)
ねらい／内容			主催講座「大学生チャレンジ」の企画講座である。大学生がまちづくりについて考え、講座を運営した。ロビーでは就労支援事業所の方をお呼びしてバザーも行った。年齢や障がいなどに関係なく誰でも参加できる講座を企画した。
参加者の反応 感想等			大人からこども、障がいのある方もみなさん一緒に楽しむことができた。モルックもボッチャも体験したことがなかったののでいい機会になった。また機会があればやってみたいとの感想もあった。



〈天明公民館〉

項 目			講 座 名	
①	③	⑤	新開大神宮第十七代宮司太田黒伴雄氏の功績	
日 時			令和6年10月12日(土) 午前10時～正午 全1回	
場 所			天明公民館 A会議室	
対 象			どなたでも(参加人数59人)	
ねらい／内容			8月の神風連資料館の閉鎖に伴い、「神風連の変」の首領として活動した太田黒伴雄氏の功績を振り返る講座。天明地域で古くから信仰が篤い新開大神宮の第十七代宮司である太田黒伴雄氏らの活動や思想とその後の日本に影響を与えた歴史を振り返る。	
参加者の反応感想等			近くに住んでいるが太田黒伴雄氏の事を全然知らなかったのがよかった。皆さんの質疑によって理解が深まった。神風連の変について知らない事が多くて学んでいかなければと思った。地元に住居知らないのいろいろな勉強したい。郷土の歴史を語り継ぐ重要性を感じる。	

〈清水公民館〉

項 目			講 座 名	
①	③	④	ちょんかけごまを楽しもう	
日 時			令和6年10月12日(土)、19日(土)、11月9日(土) 午前10時～正午（全3回）	
場 所			清水公民館 第2研修室 及び 児童館運動場	
対 象			小学4年生以上の方（参加者数6人）	
ねらい／内容			講師は肥後ちょんかけごま保存会から2名。熊本で永らく受け継がれてきた肥後ちょんかけごまを体験して楽しみ、普及・継承を図ることをねらいとした講座。公民館の研修室でこまの歴史や技のコツ等について学び、児童館運動場で実技を行った。	
参加者の反応感想等			初回講座に参加したものの「難しい」と感じ、以後欠席する方がいた。「技ができるようになった時の嬉しさは格別！」と喜ぶ方もいた。講座後、こまを購入した方、二の丸公園で開催されるこまのイベントに参加した方などがいて、今回の講座を契機に続けて活動する方がいた。	



④人材やボランティアの養成・活用

- ・地域づくりの担い手になる人材育成に積極的に取り組むとともに、地域活性化に取り組む民間等の人材との連携・協働を図る。
- ・幼少期から地域の愛着を育む事業を展開し、参加した青少年や若年層を積極的に活用する。

〈西部公民館〉

項 目			講座名
③	④	⑥	親子で和菓子づくり体験
日 時			令和6年8月3日(土) 午前10時～正午 全1回
場 所			西部公民館 調理室
対 象			小学生とその保護者(参加者数12人)
ねらい／内容			西部公民館エリアでお菓子屋を営んでいる浅井茂宏さん(現代の名工)を講師に迎え、和菓子づくり体験をすることで、伝統文化に触れてもらうもの。当日は水ようかんと練りきりの制作にチャレンジした。
参加者の反応 感想等			少しでも分量が違おうとうまいかず、先生に修正していただいたが、こどもと一緒に楽しく学ぶことができた。ついつい大人の方が夢中になってしまうが、こどもと一緒に体験出来てよかった。との声をいただいた。



〈花園公民館〉

項 目			講 座 名	
④	⑤	⑨	なぜ、清正公さんなのか（加藤神社 名誉宮司 湯田栄弘 講演）	
日 時			令和6年10月2日(水) 午前10時～正午 全1回	
場 所			花園公民館ホール	
対 象			(参加者数25人)	
ねらい／内容			以前、自主講座として活動されていた「歴史人物郷土史」メンバーから、歴史に興味のある仲間を探している、との相談から実施した講座。著名な講師から熊本ならではの歴史について深く学べるようにした。	
参加者の反応感想等			歴史について深く学ぶだけでなく、講師と様々な人との出会い、経験から参加者が学ぶ機会となった。また、講師の資料からも通常は知ることのできない加藤神社、加藤清正について深く学ぶことができた。	



〈託麻公民館〉

項 目			講 座 名
①	④	⑥	切り絵に挑戦！
日 時			令和6年8月2日(金)、8月9日(金) 午前10時～正午 (全2回)
場 所			託麻公民館 ホール(8月2日)、C会議室(8月9日)
対 象			どなたでも(参加者数 のべ17人)
ねらい／内容			託麻公民館生涯学習自主講座の切り絵教室の先生、講座生に教えてもらい切り絵を体験する。講座生が習ったことを教えることのできる機会とする。夏休みであったので、こどもが大人とともに学習する機会とする。
参加者の反応 感想等			(参加者の感想)先生方に丁寧に教えてもらったので、上手に作品を作ることができた。最初は難しいと思ったけれど、コツを教えてもらってだんだん上手になり細かいところまでできるようになった。夏休みが終わったら学校に持って行きたい。



〈富合公民館〉

項 目			講 座 名
①	④	⑦	水辺のいきもの展示会 2days
日 時			令和6年8月24日(土)25日(日) 午前10時～午後5時 全2日
場 所			富合公民館 研修室1・2・3
対 象			(参加者数 200人)
ねらい／内容			八代水生昆虫同好会64迫い人へ依頼し、昨年に引き続き今年は2日間にわたり「淡水魚～水生昆虫の生体展示＆解説」を依頼。会のメンバーである坂井氏が富合商工会青年部会員であり、自身の地元「富合」で育つこどもたちへ水辺のいきものを知ってほしいという願いを形にしたもの。
参加者の反応 感想等			幻の水生昆虫「タガメ」をはじめ、ヒキガエルや大型ゲンゴロウなど普段なかなか目にすることのない生体を目の前にし、見学者からは感嘆の声が聞かれた。こどもたちも目を丸くして見入っていた。2日目終盤のカブトムシ、クワガタのプレゼントに小さなこどもたちが大喜びしていた。



〈植木公民館〉

項 目			講 座 名
①	③	④	植木の史跡・名所の歴史を学べ2024(ボランティア養成講座)
日 時			令和6年5月12日(日)～9月22日(日) 午前10時～正午 全7回
場 所			植木公民館 視聴覚室
対 象			(参加者数24人)
ねらい／内容			○植木の史跡・名所についての歴史的学びを通して(現地学習会も行う)、植木の良さを知っていただく。 ○ボランティア活動(田原坂観光ガイドの会)への理解を深めていただく。
参加者の反応 感想等			○今後も期待しています。 ○市外なので、テーマを見て参加したい。 ○定年を過ぎた老人を対象にするだけではなく、中学生や高校生にもPRして範囲を広めることを願いたい。



〈大江公民館〉

項 目			講 座 名
①	④	⑦	SDGs 大学生と一緒に作る 夏休みワークショップ
日 時			令和6年8月22日(木) 午後1時半～4時半 (全1回)
場 所			大江公民館 C会議室
対 象			小学校5、6年生 20人 (参加者数7人)
ねらい／内容			支援事業になるが、熊本学園大学の学生が企画書を持ち込み、公民館が学生へ協力した事業。大学生と小学生の交流を目的としている。大学生が集めた材料の中から好みのものを選び、シーグラスを使ったフォトフレームとペットボトルキャップを使ったかわいいミニ帽子を作る。
参加者の反応感想等			子どもたちは、作るのが難しいところは大学生に手伝ってもらいながら作品を完成させていた。個性のある作品が出来上がり、参加者は満足していた。引率された保護者も、余った材料で作品作りを楽しんでいた。



⑤健康づくりと生きがいの充足

- ・高齢者が健康で自立して暮らしていくための学習や活動、つながりづくりに取り組む。
- ・豊かな知識・技術・経験を有する高齢者の活躍の場や機会を創出する。

〈南部公民館〉

項 目			講 座 名
①	⑤		はじめての草木染め体験
日 時			令和 6年 8月 10日(土) 午前10時～正午 全1回
場 所			南部公民館 料理実習室
対 象			(参加者数 20 人)
ねらい／内容			高校生を補助講師に招き、熊本工業高校と連携した事業。草木染めの研究をしている高校が、もっと草木染めを知ってもらいたいという思いから始まった。高校生と地域の方との交流もあり、多世代交流にもなった。
参加者の反応感想等			「草木染めに興味はあったが、実際になかなか体験できなかったので、楽しく参加することができた。自分で染めることができたので愛着がわきそう」などの感想があった。



〈西部公民館〉

項 目			講 座 名
③	④	⑤	池上校区第3町内老人クラブ「健康脳トレ体操」
日 時			令和6年5月7日、7月16日、9月17日、10月15日、11月5日(火) 午前10時～11時 全5回
場 所			池上老人憩の家
対 象			池上校区第3町内老人クラブ(参加者数のべ98人)
ねらい／内容			生涯学習自主講座の講座生が、老人クラブの運営を行うことになり、公民館に協力を求められ行った講座。講師にも生涯学習自主講座の講師を紹介し、地域の健康づくりにご協力いただいた。
参加者の反応感想等			なかなか遠くまで行けないけど、家の近くでやってくれるとありがたい。とても楽しい講座で、頭も体もたくさん動かすことができました。公民館にご協力いただけて本当に助かった。こういった取り組みは継続していきたい。といった感想があった。



〈大江公民館〉

項 目			講 座 名
①	③	⑤	元気にシニアライフを送ろう！スポーツテストの結果をふまえたトレーニング法
日 時			令和6年6月20日(木) 午前10時～正午（全2回）
場 所			大江公民館 大ホール
対 象			70歳以上 20人（参加者数17人）
ねらい／内容			転倒予防、介護予防にむけたシニアのための筋力トレーニングを紹介する。まずは体力測定を行ってからトレーニング開始！2月に再度体力測定を行い、体の変化をくらべる。体力に自信のない方も気軽に参加できる。
参加者の反応感想等			最初にスポーツテストを行ったので、参加者は、その時の自分の体の状態を知ることができたと喜んでいました。講座で行った筋力トレーニングを継続し、2月に筋力はどう変わっているのかを測定することを伝え、 「続けなんね！」と意欲的だった。



⑥家庭教育と青少年健全育成の支援

- ・家庭教育に関して、親同士の学びあいを促進する。（家庭教育学級ほか）
- ・子どもが主体となるような様々な体験活動の場を設け、異年齢の子ども同士の交流を図る。
- ・地域特性に応じた文化・自然・社会体験を含む学習機会を、すべての子どもたちに提供していく。

〈河内公民館〉

項 目			講 座 名
③	④	⑥	夏休み応援企画～河内川で水生生物調べ～
日 時			令和6年(2024年)7月21日(日) 午前10時～正午
場 所			金峰森の駅 みちくさ館
対 象			小学生と保護者 8組
ねらい／内容			子どもたちが、河内川の生き物調べを行うことで、環境についての興味関心を高めることをねらいとして行った。内容は、みちくさ館裏の河内川で、生き物採取を行い、みちくさ館で採取した生物を観察するもの。
参加者の反応感想等			家族で協力して作業する姿が見られた。多様な生物があり、子どもたちからは、「こんなにたくさんの生物がいるとは驚いた」などの声があった。普段自然と触れ合う機会が少ないため、良い体験になったようだ。



〈中央公民館〉

項 目			講 座 名
①	⑥	⑧	夏休み こども油絵教室
日 時			令和6年7月28日(日)、8月18日(日) 午前10時～正午（全2回）
場 所			中央公民館 7Fホール
対 象			小学生(参加者数15人)
ねらい／内容			油絵を描くことは、こどもの感性を育み、可能性を広げる上で大きな影響力を持っており、多様な表現の楽しさや面白さに触れる機会にする。こどもたちは、講師との対話を通して創造力を働かせ、独自の発想やアイデアを膨らませながら絵に描いていた。
参加者の反応感想等			参加したこどもたちは学校では油絵を習っていないため、全員が初めての体験だった。教室では基本的な油絵の書き方、デッサンも黒炭で描いたり、色の使い方を学び、最後には自分だけの作品を完成させた。自分だけの作品を完成させる喜びを感じている様子が印象的だった。



〈東部公民館〉

項 目			講 座 名
①	⑤	⑥	食生活や農業がよくなるためにみんなでできることを考えてみよう！
日 時			令和6年8月6日(火),7日(水),21日(水) 午前10時～正午 全3回
場 所			東部公民館/上益城郡の畑
対 象			家庭教育学級生(参加者数各回15人程度)
ねらい/内容			九州農政局とのコラボ企画。食生活や農業についての理解促進のため、豆運び体験などの講座、畑での収穫体験、調理実習を行った。
参加者の反応 感想等			食べ物や農業について考える良い機会となった。猛暑の中での畑作業の大変さ、有機農法の素晴らしさ、有機の食材を使った料理のおいしさなど、毎回新たな学びの連続だった。「夏の良い思い出ができた。有機野菜を積極的に買いたい」との感想が聞かれた。参加費無料の親子体験は夏休みのイベントとして魅力的だったようだ。しかし、熱中症の心配に苦慮したため、実施の時期は検討の余地があると感じた。



〈飽田公民館〉

項 目			講 座 名
⑥	⑧	⑨	ペットボトルでピザ作り
日 時			令和6年 11月30日(土) 午前9時30分～11時30分 全1回
場 所			飽田公民館 生活工房室 駐車場
対 象			飽田東・西小学校の家庭教育学級生(参加者数 50人)
ねらい/内容			飽田東小では昨年久しぶりに家庭教育学級が再開し、昨年好評だった「ペットボトルでピザ作り」を行った。災害で火が使えなくてもペットボトルや斗缶等工夫することで温かいピザが作れることを学び、防災意識を高めた。また飽田西とも合同で行って交流を図り、活動は熊本経済新聞、yahoo! ニュースでも取り上げられた。
参加者の反応 感想等			災害等でガスが使えない時、冷たく・かたい非常食を食べていた。しかし、工夫することで温かくおいしい料理が作れることが分かった。また久しぶりに親子で活動することができ、西小の人とも話せた。仕事・用事を休んで参加したが、それ以上の価値があった。次の活動もまた参加したい。



⑦地域学校協働活動の推進

地域学校協働活動に携わる地域住民の学びや住民同士のつながりづくりに積極的に関わりながら、学校と連携・協働して「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進する。

〈五福公民館〉

項 目			講 座 名
①	⑥	⑦	風流街浪漫フェスタ
日 時			令和6年11月2日(土) 午前9時～午後3時
場 所			細工町通り
対 象			(参加者数 10,000人)
ねらい/内容			地域の方と五福小学校の校区全体で協力し、開催される五福校区最大のお祭り。五福公民館前の細工町通りを歩行者天国にして、さまざまなイベントを開催しました。小学校での総合的な学習の時間にも深くかかわる祭りで、地域の行事を通して、歴史や人のつながりを学ぶ機会となりました。
参加者の反応 感想等			たくさんのイベントが通りに展開し、雨の降る中ではあったが、大変にぎわった。小学生が各学年ごとに総合的な学習の時間で取り組んだ内容をもとに店を構えたが、とても楽しんでいたし、地域の大人たちとの交流も充実していたようだ。



〈植木公民館〉

項 目			講 座 名
①	⑥	⑦	お助け！夏休みの宿題・絵の部
日 時			令和6年8月8日(木)・9日(金)・10日(土) 午前10時～正午 全3回
場 所			植木公民館 研修室
対 象			(参加者数15人)
ねらい／内容			小学校の夏休みの宿題・課題としてだされた絵の取組を、この講座で仕上げる。 本講座では、北区主催「ゴッホを探せ」への出品に向けて、北区シンボルフラワーである「ひまわり」を題材に取り上げて描く活動とする。
参加者の反応 感想等			○楽しかった。 ○一つ宿題が終わったので、早く全部の宿題を終わらせて、残りの夏休みを遊びたい。



〈東部公民館〉

項 目			講 座 名
③	⑥	⑦	小学5年 国語「地域の魅力を紹介しよう」
日 時			令和6年5月24日(金) 午前9時25分～10時10分 全1回
場 所			健軍東小学校 他2校
対 象			小学5年生児童(参加者数223人)
ねらい／内容			学校からの「地域の魅力について話せる人を紹介してほしい」との要望を受け、地域担当職員による講座を実施した。地理的、歴史的な観点から地域の魅力を聞くことで、自分の校区への愛着を深める。
参加者の反応 感想等			地域の魅力を3つの視点(場所・歴史・イベント)から整理して話してもらい、とてもわかりやすく、こどもたちは意欲的にタウン誌作りに取り組んでくれたようだ。できあがったタウン誌を公民館に掲示したところ、多くの方が足を止め、見入っていた。管内3小学校で同様の授業を実施した。管内のすべての小学校でこのようなことができればこどもたちの郷土愛の醸造の一助となるのではなかろうかと考えた。



〈北部公民館〉

項 目			講 座 名
③	⑦	⑨	北部中学校特別支援学級「SDGsの学習」とコラボした北部まちづくりセンター・公民館 花壇の整備
日 時			令和6年(2024年)4月～令和7年(2025年)3月全24回月2回(第2・4 水)午後3時20分～40分
場 所			北部まちづくりセンター・公民館正面玄関前花壇
対 象			北部中学校特別支援学級生徒(参加者数約10人)
ねらい／内容			北部中学校特別支援学級のSDGsの学習とコラボして北部まちづくりセンター・公民館正面玄関前の花壇の整備を年間を通して行うことで、地域の一員としての自覚や意識を高める。
参加者の反応 感想等			年間を通して、計画的に四季折々の花や球根を植えたり、草取り、土づくり等、一人ひとりの生徒が、とても一生懸命に取り組んでいた。



⑧地域の防災力の向上

地域の防災・減災力を高めるための学びの場をつくり、地域の防災組織の学習の支援、地域の防災士等のボランティアとの連携、自主防災組織との連携などを通じて、だれもおきざりにしない地域防災の活動の支援、促進を行う。

〈天明公民館〉

項 目			講 座 名
②	③	⑧	防災に活かすスマホ講座
日 時			令和6年11月27日(水)午前10時～正午
場 所			天明公民館 B会議室
対 象			どなたでも(参加者数15人)
ねらい／内容			昨今の異常気象に伴う災害の大きさには市民の中でも特に高齢者は不安を感じる人が多い。そこで高齢者の方々を主に対象として防災をテーマにデジタルデバイド解消も合わせて今回の講座を実施。防災関連のWEBサイトなどで防災に関する情報収集の基本的な内容を学習することとした。
参加者の反応 感想等			(参加者の感想)防災に対する気持ちが変わった。防災アプリに対するハードルが高かったが今回の受講で身近になれた。音声入力 of の便利さがわかった。これまでスマホは電話の利用だけであったが宝の持ち腐れであった事がわかった。



〈富合公民館〉

項 目			講 座 名
④	⑥	⑧	親子！サバイバルご飯炊き教室
日 時			令和6年12月8日(日) 午前10時～正午 全1回
場 所			富合公民館研修室1・2及び屋外
対 象			(参加者数 37人)
ねらい／内容			小学生と保護者を対象にした防災力向上をねらったグループ研究のモデル講座。講師は、熊本シティエフエムの桑野 氏に依頼し、社教主事6人もサポーターとして補助や記録に入る。持続可能な防災意識とスキルを広げることを期待。
参加者の反応 感想等			この冬一番の冷え込みの悪天候の中、風も強く被災時の模擬体験にはぴったりであった。空き缶炊飯に親子で協力して取り組み、炊きあがったご飯に感動を覚えたとの感想が寄せられた。多くのスタッフの手厚いサポートのもと事故もケガもなくみなさん笑顔で終えることができた。



〈龍田公民館〉

項 目			講 座 名
③	⑥	⑧	ペットボトルピザを作ろう
日 時			令和6年11月10日(日) 午前10時～午後1時 (全1回)
場 所			龍田プレイパーク
対 象			どなたでも(参加者数29人)
ねらい／内容			災害時に備えて、身近にあるものを使って暖かい食べ物を作ることができる体験をする。ペットボトルに小麦粉等材料を入れ、湯煎にかけ発酵させた生地を使って、ピザを焼く体験ができた。親子で参加している人も多く、絶好のふれあいの場となっていた。
参加者の反応 感想等			ペットボトルを使って、どのような工程でピザができるのか興味津々の様子だった。段ボールで作られた窯なども工夫が見られた。また、プレイパークの自然豊かな環境に抱かれて、生地が発酵する待ち時間に、子どもたちは、アドベンチャーの遊具で存分に楽しんでいた。



〈秋津公民館〉

項 目			講 座 名
③	④	⑧	秋津公民館生涯学習自主講座自治会 秋季クリーン作業&ちょこっと防災
日 時			令和6年11月10日(日) 午前9時～10時30分
場 所			秋津公民館敷地内及びホール
対 象			秋津公民館生涯学習自主講座受講生(参加者数120人)
ねらい／内容			毎年秋に行っているクリーン作業と合わせて「防災についてのお話」と「アルファ米の炊き出し実演」を行うことにより、避難所の実態と普段から準備確認しておくべきことを理解してもらう。また、クリーン作業をしてもらった方々にアルファ米と水(ローリングストック)を配布した。
参加者の反応 感想等			参加者からは「防災についてまだまだ知らないことがたくさんあったので参加してよかった。」「アルファ米が意外と美味しかった。」「避難所には限られたものしかないので、日ごろから自分でも準備しておきたい。」といった声が聞かれた。



⑨共生社会の実現(人権意識の向上)

性別、障がいの有無、病気、国籍、年齢などに関係なく、一人ひとりの人権が尊重され、互いの生き方を認め合うとともに、多様な考え方が活かされる社会を実現するために、学級・講座の開設や交流活動など人権に関する多様な学習機会を提供する。

〈幸田公民館〉

項 目			講座名
①	⑥	⑨	幸田公民館・御幸小学校主催 人権教育講演会「こどもの主体性を育む効果的な関わり方」
日 時			令和6年12月10日(火) 午後2時30分～午後4時30分 全1回
場 所			熊本市立御幸小学校 体育館
対 象			(参加者数 57人)
ねらい／内容			講師は、江口 真弓さん(スポーツコミュニケーションアドバイザー)。ねらいは、「こどもと共に育つ親とはどういうことかを理解すること」で、小学校と連携して開設した。こどもの特性や個性を理解し、具体的にどんな言葉かけや共感が、こどもの主体性を育むのにより効果的であるのかを様々な事例を想定し、参加者同士のディスカッションを通して認識を深めることができた。
参加者の反応 感想等			「こどもの多面的な見方を知る機会となり、こどもの人権を大事にする意味がわかった」、「こどもの個性に応じた言葉かけや働きかけ、関わり方を考える機会となり、とてもためになった」などの感想が聞かれ、こどもの持つ特性や発達にまつわる問題への理解の浸透を伺うことができた。



〈城南公民館〉

項 目			講 座 名
①	⑥	⑨	こころを育てるあったかセミナー
日 時		令和6年7月30日(火)・9月21日(土)・11月12日(火)・2月12日(水) 午後6時半～8時(午後1時半～3時) 全4回	
場 所		城南公民館 大学習室	
対 象		行政職員・教職員・地域の方(参加者50～60人)	
ねらい／内容		多様で複雑な社会になりつつある現在、人権問題に関する様々な課題事象から考えていき、人権意識向上と実践的な態度につなげていくことをめあてに実施している。	
参加者の反応感想等		今年度はテーマを「LGBTQ+問題」「こどもの権利・人権問題」「水俣病問題」「同和問題」について実施した。参加者も自らを振り返り、差別の現実を知り・学び、自らの言動に責任を持つこと、周りに優しさと思いやりの心を持って行動に移していく大切さを実感していた。	



〈清水公民館〉

項 目			講 座 名
①	④	⑨	清水公民館日本語教室ボランティア養成講座
日 時		令和6年11月10日(日)、24日(日)、12月8日(日)、22日(日) 午前10時～正午 (全4回)	
場 所		清水公民館 第1研修室	
対 象		18歳以上の方 (参加者数12人)	
ねらい／内容		令和7年から外国籍の方々を対象に、分かりやすい日本語を学んでもらう「日本語教室」を開催することにした。教室の開講にあたり、令和6年11月と12月に、協力していただける市民ボランティアを養成する講座を立ち上げた。講師は熊本市国際交流振興財団より3名と外国人2名。	
参加者の反応感想等		外国で長く働いていた方、留学経験がある方、大学生の方など、日本語ボランティアに関心がある方が集まり、熱心に学んでいた。講座の後半は台湾とインドネシアの方をお呼びして日本語で交流した。「令和7年からボランティアとして活動し、外国籍の方々に助けたい」という感想あり。	



〈飽田公民館〉

項 目			講座名
②	⑥	⑨	ネット社会における豊かな人権感覚
日 時		令和 6年 7月 9日(火) 午前13時半～15時半 全1回	
場 所		飽田東小学校 音楽室	
対 象		飽田東小5・6年生とPTAと地域の方(参加者数204人)	
ねらい／内容		毎年、小学校5年と6年生がSNSに使い方について講話を受けている。ネットだから・・・ではなく、ネットにも相手があり、様々な考え方や事情がある。ネットの人にも共生の心を持ち、普段からの言動に活かさないといけない。また6年生は去年の講話の振り返りの場にもなる。	
参加者の反応感想等		現在の子どもたちにとってはネットが身近なものになり、機器やアプリ等大人よりも詳しい児童も増えている。その反面、ネットを通じた様々な問題や事件も多種多様になり、年々増加している。ネットだからではなく、その向こうにいる人のことを考えられるようになりたい。	



(5) 各研究グループからの発表

下記の項目を「重点取組項目」とし、社会教育主事で研究グループを編成し、年間を通して学習を深めました。

① 若者の学びの場と地域参画の機会づくり (4)－①③④⑥⑦

② 地域の防災力の向上 (4)－⑧

③ 共生社会の実現(人権意識の向上) (4)－⑤⑨

④ 公民館活動の魅力発信 (4)－②

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
中央	7月26日	講座	心の気づき「傾聴」	NPO法人 傾聴ネット キーステーション	傾聴の入門講座	その他	1月0日	3回 どなたでも参加
大江	5月14日	講座	主催講座 はじめての手話講座	田中みさ代さん (熊本県手話サークルわか ぎ 宇城グループ)	手話についての基本的な方法につ いて学習する。10回講座。	障がい者の人権		どなたでも
大江	11月6日	講演会	おでかけ公民館 ハートフル講演会 「水俣を知ろう」	三枝三七子さん	絵本作家の三枝さんに水俣の事を 聴き、環境から始まり、人の生き方 等を考える。総合的な学習の時間 において5年部の取り組みの一つと して扱う。	水俣病をめぐる 人権		白山小学校5年生 職員5人
中央 大江 五福	2月23日	講演会	中央区公民館 合同人権教育啓発講演会 「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」	栗山宋大さん (脚本家)	国、言語、文化の多様性に目を向 け、違いを乗り越えてつながりあう ための思いやりの心を多くの人 にもってもらうため、映画上映会と講 演会を開催する。	人権全般	熊本市人権啓発 市民協議会	熊本市民
五福	10月10日	講座	水俣病をめぐる人権について	三枝三七子さん	なぜ水俣病の学習をするのかを考 えるとともに、水俣病を正しく理解 し、これからの未来のあるべき姿を 考えていく。	水俣病をめぐる 人権	主催 ふれあい文 化センター 共催 五福公民 館・人権教育指導 室	ふれあい文化センター 本荘小学校 4・5年生児童、教職員
五福	12月17日	講座	子どもの心と体について (性教育)	越地栄美さん (向山小養護教諭)	・人の性器を触ったり、見せたりし たらいけないというルールを子ども たちにどう伝えるか。 ・ネット社会に住む子どもたちが いろいろな性の情報にさらされて いるが、いろいろ尋ねられた時に 親としてどう対応したらよいのか。	子どもの人権	主催 向山幼稚園 保護者会 共催 五福公民館	向山幼稚園,向山幼稚園 保護者
五福	7月9日	講演会	水俣病をめぐる人権問題 についての学習	三枝三七子さん	なぜ水俣病の学習をするのかを考 えるとともに、水俣病を正しく理解 し、これからの未来のあるべき姿を 考えていく。	水俣病をめぐる 人権	主催 五福公民館 共催 人権教育指 導室	一新小学校,一新小学 校5年生児童、教職員

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
五福	7月10日	講演会	水俣病をめぐる人権問題 についての学習	杉本 肇さん	なぜ水俣病の学習をするのかを考える「想像力と思いやり」が大切・差別と区別の違いを学んでほしい・自分の目や耳で知ろうとすることが大事	水俣病をめぐる人権	主催 五福公民館 共催 人権教育指導室	春竹小学校春竹小学校5年児童、教職員
五福	12月2日	講座	LGBTQ+に関する基礎的理解と学校現場で大切にしたいこと (向山小学校職員研修)	曾方晴希さん	LGBTQ+に関する基礎的理解について知っておきたいことを学ぶ。それをもとに学校現場で大切にしたいことについてみんなで考える。	性同一性障がい・性的指向をめぐる人権	主催 五福公民館	向山小学校k教職員
東部	7月8日	講演会	みなまたから学ぶ 思いやりの大切さ	三枝三七子さん (絵本作家)	「みなまたの木」の読み語りをとおして、水俣病についての理解を深める。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	泉ヶ丘小第5学年児童及び教職員(71人)
東部	7月4日	講座	障がい者サポーター養成講座	熊本市障がい者 相談支援センター きらり職員	障がいのある方を理解し、サポートするための基礎を学ぶ	高齢者の人権	東部まちづくりセンター	月出小第4学年児童及び教職員(63人)
東部	7月12日	講演会	みなまたから学ぶ 思いやりの大切さ	三枝三七子さん (絵本作家)	「みなまたの木」の読み語りをとおして、水俣病についての理解を深める。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	月出小第5学年児童及び教職員(77人)
東部	9月4日	講座	障がい者サポーター養成講座	熊本市障がい者 相談支援センター きらり職員	障がいのある方を理解し、サポートするための基礎を学ぶ	高齢者の人権	東部まちづくりセンター	健軍東小第4学年児童及び教職員(42人)
東部	10月1日	講演会	戦争と平和	浦田藤枝さん	戦争(被ばく)体験談を通して、戦争と平和及び人権についての理解を深める。	原爆被害者等の 人権	人権教育指導室	尾ノ上小第6年児童及び教職員(131人)
東部	10月29日	講演会	戦争と平和	浦田藤枝さん	戦争(被ばく)体験談を通して、戦争と平和及び人権についての理解を深める。	原爆被害者等の 人権	人権教育指導室	健軍小第6年児童及び教職員(92人)
東部	11月1日	講演会	「平和の紙芝居・原爆と核兵器 のおはなし ～今、私が伝えたいこと～」	工藤武子さん (熊本被爆者団体 協議会理事)	◇講師の被爆体験を記した紙芝居の朗読 ◇戦争と平和についての講話	原爆被害者等の 人権	人権教育指導室	山ノ内小第6学年児童及び教職員(101人)

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
秋津 東部 託麻	3月15日	講演会	熊本市東区公設公民館 (秋津・東部・託麻) 合同人権啓発講演会 「最期は笑ったもん勝ち」	横田久世さん (筆師、マラソンアスリート)	突然の病気のため、両足と手の指を失いながらも「筆師」として筆を執り続け作品を制作すると同時に、競技用義足を装着し、国内外のマラソン大会に挑戦している。熊本城マラソンにも出場された講師の常に前向きな生き方に触れる。	障がい者の人権	熊本市人権啓発 市民協議会	市民
託麻	6月27日	講座	主催講座 初級手話講座	小野 康二さん (熊本県ろう者福祉協会)	手話の初心者を対象に、手話とは何かを学び、手話の基本的な表現について学習する全10回講座。 (実際は避難所開設のため9回)	障がい者の人権		市民(28人)
託麻	7月12日	講演会	ハートフル講演会 (託麻西小学校)	三枝三七子さん (絵本作家)	「みなまたの木」の読み聞かせをとおして、水俣病についての理解を深め、環境問題について考える契機とする。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	託麻西小第5学年児童及び教職員、地域住民(146人)
託麻	10月7日	講演会	ハートフル講演会 「パラリンピックメダリスト 富田宇宙さんの講演会」 (西原中学校)	富田宇宙さん (EY Japan パラアスリート)	自身の体験をもとに、共生社会の実現の大切さや自分らしさを失わず前向きに努力することの大切さについての話を聞くことで、自分の生き方を考える契機とする。	障がい者の人権	人権教育指導室	西原中学生及び教職員、保護者、地域住民(681人)
託麻	11月16日	講演会	人権講演会 人権落語「笑いは心の栄養！ 笑顔でつなぐ心の絆」	粗忽家勘心さん (ひなたの会)	落語を通して、地域住民みんなが上下関係のない何でも言い合える仲間だったという話などから、人権について考える契機とする。	人権全般		市民(46人)
託麻	12月4日	講演会	ハートフル講演会 「水俣病をめぐる人権について」 (託麻北小学校)	杉本 肇さん (水俣病資料館語り部)	自身の体験をもとに水俣病や患者家族のこと、環境や命を守ることの大切さについての話を聞くことで、水俣病への理解を深め、環境問題について考える契機とする。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	託麻北小学校5年生、教職員(95人)
託麻	12月4日	講演会	ハートフル講演会 「水俣病の話」 (託麻南小学校)	坂本みゆきさん (水俣病資料館語り部)	水俣で育った自身がどのように水俣病に向き合ってきたのかを軸とした水俣病をめぐる問題についての話を聞くことで水俣病についての理解を深め、環境問題について考える契機とする。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	託麻南小学校5年生、保護者、教職員(238人)

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
託麻	12月20日	講演会	ハートフル講演会 「戦争体験講話」 (託麻北小学校)	大塚徳勝さん	太平洋戦争の経緯、被害や戦時中の様子、5回の空襲や機関銃で狙われた実体験、講師の専門である放射能、放射線の話をもとに、平和について考える契機とする。	その他(平和)	人権教育指導室	託麻北小学校6年生、保護者、教職員、地域住民(104人)
託麻	1月15日	講演会	ハートフル講演会 「平和について考えよう～地域に残る戦争遺跡について学ぶ～」 (託麻南小学校)	永田 昭さん (菊池飛行場ミュージアム副代表)	戦時中義烈空挺隊が発進した熊本飛行場(健軍飛行場)の戦争遺跡や特攻隊、特攻隊員について知り、その立場になって考えることで平和について考える。	その他(平和)	人権教育指導室	託麻南小学校6年生、保護者、教職員(179名 予定)
秋津	7月9日	講座	おでかけ公民館 「視覚障がいについての理解と点字体験」	石坂 啓さん (児童発達支援・放課後デイサービス「こころめ」指導員)	視覚障がい者への声かけの仕方や補助の仕方について具体的に学び、点字体験を行った。	障がい者の人権		秋津小学校4年生(105人)
秋津	7月11日	講演会	今を生きる私たちが 水俣病を学ぶということ	三枝三七子さん	「みなまたの木」の読み語りをとおして、水俣病についての理解を深める。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	桜木東小学校5年生及び教職員(92人)
秋津	9月8日	講演会	矢嶋家の家庭環境と女子教育 に命をかけた竹崎順子のいきざま	齋藤輝代さん (著述家)	明治の時代に女性の地位向上のために尽力した矢嶋家の四賢婦人の生涯について学び、女性の人権についての理解を深める。	女性の人権		どなたでも(98人)
秋津	11月8日	講演会	今を生きる私たちが 水俣病を学ぶということ	三枝三七子さん	「みなまたの木」の読み語りをとおして、水俣病についての理解を深める。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	桜木中学校1年生及び教職員(178人)
秋津	12月1日	講演会	肥後にわかde詐欺防止!	にわか砂原劇団	高齢者を狙った詐欺被害の実態や事例を紹介し、詐欺被害を肥後にわかで鑑賞することにより、自分事として理解し、高齢者の詐欺被害を防ぐ。	高齢者の人権	【協力】 熊本東警察署 肥後銀行秋津支店	どなたでも(97人)

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
西部	7月4日	講演会	スマートフォンをめぐる こどもたちの現状	戸田俊文さん (真和高等学校)	スマートフォンにまつわる、小学生に 関わる現状について話を聞く。	インターネットに よる人権侵害		小島小学校保護者向 け講演会
西部	7月10日	講演会	みなまたから学ぶ 思いやりの大切さ	三枝三七子さん (絵本作家)	「みなまたの木」作者である講師を お招きし、水俣病をめぐる人権問題 について考える。	水俣病をめぐる 人権	人権教育指導室	高橋小学校5年生及 び地域の方
西部	7月11日	講演会	みなまたから学ぶ 思いやりの大切さ	三枝三七子さん (絵本作家)	「みなまたの木」作者である講師を お招きし、水俣病をめぐる人権問題 について考える。	水俣病をめぐる 人権	人権教育指導室	小島小学校5年生及 び地域の方
西部	11月1日	講演会	ハートフル講演会(平和学習)	浦田藤枝さん	被爆当事者である講師をお迎えし て、平和について考える。	原爆被害者等の 人権		小島小学校6年生及 び地域の方
西部	11月16日	講演会	落語で楽しく学ぶ人権	粗忽家勘心さん (ひなたの会)	落語家である講師をお招きして、人 権全般についての話を落語の語り 口でお話しいただく。	人権全般		地域の方
花園	6月29日	講演会	3校合同家庭教育学級 講演会 「子どもたちが自分らしくかがや くために」	WING SCHOOL校長 田上義浩さん	WING SCHOOLでの取り組みを 通して、子どもたちが自分らしく輝く ための関わり方について	子どもの人権		花園・城西・池田小 家 庭教育学級
花園	11月7日	講演会	花園小学校 ハートフル講演会	絵本作家 三枝三七子さん	水俣病についての正しい理解につ いて	水俣病をめぐる 人権	熊本市人権教育 指導室	ハートフル講演会
花園 西部 河内	1月18日	講演会	西区3館合同人権映画上映会	映画「みんなの学校」	映画鑑賞を通して、子どもたちを中 心とした多様な他者との相互理解 について	子どもの人権	熊本市人権啓発 市民協議会	西部・河内・花園公民 館3館合同主催
河内	8月8日	講座	ボッチャ体験	陣内和浩さん (天草青年の家)	オリンピック・パラリンピックの種目 でもあるボッチャ。競技を通じて、障 がいに関わらずに楽しめる競技を 知る。	障がい者の人権	天草青年の家	地域の60歳以上の方 36人程度 (生きがい学級)

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
河内	11月7日	講演会	みなまたから学ぶ 思いやりの大切さ	三枝三七子さん (絵本作家)	「みなまたの木」の読み語りをと おして、水俣病についての理解を深め る。	水俣病をめぐる 人権	人権教育指導室	芳野小5年生と教職員 8人
河内	11月28日	講演会	ストリートチルドレン に学ぶ生き方	寺本真将さん (MASA FREE SCHOOL 代表)	世界の働く子どもたちの 現状を知 り、子どもの人権 について考える機 会とする。	子どもの人権	人権教育指導室 河内中学校	河内中2年生と教職員
河内	11月28日	講座	ストリートチルドレン に学ぶ生き方	寺本真将さん (MASA FREE SCHOOL 代表)	世界の働く子どもたちの 現状を知 り、子どもの人権 について考える機 会とする。	子どもの人権	人権教育指導室 河内小学校	河内小5・6年生と教職 員
河内	2月1日	講演会	落語で語る人権の嚆	忽滑谷勘心さん (アマチュア落語家)	人権に関する落語を聞いて、人権 について学び、考える。	人権全般		熊本市民
河内	2月6日	講演会	芳野中学校立志式記念講演会	寺本真将さん (MASA FREE SCHOOL 代表)	世界の働く子どもたちの 現状を知 り、子どもの人権 について考える機 会とする。	子どもの人権	人権教育指導室 芳野中学校	芳野中2年生と教職員
南部	4月9日～ (第2・4火曜日 全6回)	講座	はじめての手話入門	田中みさ代さん (熊本県手話サークル わかぎ宇城グループ)	初心者向け手話講座	障がい者の人権	熊本聴覚障害者 総合福祉セン ター	市民
南部	7月9日～ (第2・4火曜日 全14回)	講座	もっと学びたい手話講座～中級編～	田中みさ代さん (熊本県手話サークル わかぎ宇城グループ)	初心者向け手話講座	障がい者の人権	熊本聴覚障害者 総合福祉セン ター	市民
南部	9月11日～ 水曜日 (全8回)	講座	傾聴ボランティア養成講座	大村香澄さん (傾聴ネットキーステ ーション)	はじめての傾聴講座 傾聴の手法を学ぶ。	人権全般	傾聴ネットキーステ	市民

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等 の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
南部	6月5日	フォーラム	人権フォーラム 「こどもの人権について」	水野直樹さん	①「子どもの権利条約」についての概要説明 ② 条約ができた理由について考える。 ③ 事前アンケートについて、結果発表 生徒会より ④ 「権利と義務」の違いについて考える。 ⑤ 自分の中で大切にしたいものは何か考える。	子どもの人権	人権教育指導室	力合中学生徒(約600人) 保護者、地域の方
南部	7月8日	講演会	ハートフル講演会 「今を生きる私たちが 水俣病を学ぶということ」	三枝三七子さん (絵本作家)	水俣について学習する。	水俣病をめぐる 人権	人権教育指導室	日吉東小学校5年生 (95名) 保護者、地域の方
南部	9月29日	講演会	教養講演会 「一歩踏み出せば 自分の笑顔につながる」 ～本音に生きる子育て論～	横田久世さん	突然の病気のため、両足と手の指を失いながらも、「筆師」として筆を執り続け作品を制作すると同時に、競技用義足を装着して、国内外のマラソン大会に挑戦していて、熊本城マラソンにも出場された講師の常に前向きな生き方に触れることで、参加者一人ひとり、自分の事と重ねながら考えていく良い機会とする。	障がい者の人権	人権政策課	市民
南部	10月17日	講演会	ハートフル講演会 「戦争・原爆体験を通して」	工藤武子さん (熊本県原爆被爆者団体協議会)	元国鉄職員の被爆体験を基にした紙芝居を上演し、原爆の悲惨さを語る。	原爆被害者等の 人権	人権教育指導室	力合小6年生児童 (約90人) 保護者、地域の方
南部	11月26日	講演会	ハートフル講演会 「世界のこどもたちについて 学ぼう」	寺本真将さん (MASA FREE SCHOOL)	世界のストリートチルドレンや難民・過酷な児童労働をすることもたちの生き方や想いのお話等	子どもの人権	人権教育指導室	城南中学校生徒 (約400人) 保護者、地域の方
幸田	4月22日 9月29日 10月20日 (3回シリーズ)	講演会	こどもの主体性を 育む効果的な関わり方	スポーツコミュニケーションアドバイザー 江口真弓さん	こどもの特性に応じた関わり方について理解し、こどもの人権や発達についての理解を深める。	子どもの人権	主催 幸田公民館 共催 人権政策課 御幸小学校	御幸小学校の保護者と児童及び教職員と市民

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
幸田	6月21日～ (8回シリーズ)	講座	手話講座～はじめての方へ～	熊本県手話サークルわかぎ宇城グループ 田中みさ代さん	手話の初心者を対象に、手話についての基本的な方法について学習する10回講座。	障がい者の人権	主催 幸田公民館	市民
幸田	7月20日	講座	ボッチャ大会	市文化スポーツ財団 より2名	パラリンピック競技種目のボッチャを体験する大会。	障がい者の人権	主催 幸田まちづくりセンター	市民
幸田	2月4日	講演会	ストリートチルドレンに学ぶ生き方	寺本真将さん (MASA FREE SCHOOL 代表)	世界の働く子どもたちの現状を知り、子どもの人権について考える機会とする。	子どもの人権	人権教育指導室 御幸小学校	御幸小5.6年生と教職員と市民
飽田	7月2日	講演会	マナーアップ講座	(株)ヒューマンスパーク 山本直子さん	相手の気持ちを考え、礼節をもって接する大切さ、また、お辞儀などの作法を思いやりの心をもって実践する。	人権全般	(株)ヒューマンスパーク	飽田中学校 2年生
飽田	7月9日	講演会	ネット社会における豊かな人権感覚 ハートフル講演会	戸田俊文さん (真和中・高等学校)	豊かな人権感覚をもってネット社会に参画することを学ぶ。 見えない相手への心づかいや情報拡散等への注意について知る。	インターネットによる人権侵害	真和中・高等学校 人権教育指導室	飽田東小 5・6年生
飽田	10月3日	講座	手話講座	田中みさ代さん	手話・指文字の学習をとおして、耳の不自由な方のことを理解し、困っている方を助けようとする意識を育てる。	障がい者の人権		飽田東小 4年生
天明	6月21日	講座	初めての手染め革細工講座	田邊美咲さん	作業療法などでも取り入れられる革細工。専用の工具を用いて本革を材料にしての小物作り。こどもから高齢者、障がい者も容易に革小物の製作ができる。	高齢者の人権		どなたでも
天明	12月3日	講演会	ハートフル講演会 「一歩踏み出せば、 自分の笑顔につながる」	横田久世さん	病気により障がい者となった講師自身の体験を踏まえ、前向きに生きる姿を講演。	障がい者の人権	人権政策課	中緑小、児童46人、保護者26人、職員15人

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
天明	12月5日 ～28日		熊本市人権啓発作品展示		人権教育指導室が実施した人権啓発作品展の管内小中学校の作品を施設内に展示	子どもの人権	人権教育指導室	どなたでも
富合	12月13日	講演会	ハートフル人権講演会 演題「インターネットやSNSの安全な使い方」	モバイル・ネットワーク 研究所 松川由美さん	小学生が依存してしまっているスマホやタブレット等を利用したインターネット及びSNSの危険性について知り、安心安全な使い方を知る。	インターネットによる人権侵害	主催 人権教育指導室 富合公民館	富合小学校6年生, 教職員, 市職員
富合	令和7年 3月16日 (予定)	講演会	南区(6公民館合同) 人権啓発講演会 演題「みんなに優しい防災」	柳原志保さん	災害時の避難所等における防災に関わる人権の確保について知り、配慮すべきことをクロスロードゲームを通して学ぶ。	その他	主催 南区6公民館 熊本市人権啓発 市民協議会	住民, 家庭教育学級生, PTA, 市職員
城南	7月9日	講演会	*特になし	栗山重信さん	部落問題を始め、身の回りの差別事象について考えて啓発していく。	同和問題		城南町に赴任された職員(行政職・教職員)向けの研修会
城南	7月30日	講演会	LGBTQ+の基礎知識と最近のこと	吉村千恵さん (くまにじ運営メンバー／ 尚絅大学短期大学部総合生活学科講師)	LGBTQ+:セクシュアルマイノリティに関する人権問題	性同一性障がい・性的指向をめぐる人権		・行政職員 ・教職員 ・一般市民
城南	9月21日	講演会	こうのとりのゆりかごから始まる第2の人生	宮津航一さん (ふるさと元気こども食堂代表／一般社団法人子ども大学くまもと理事長)	子ども大学・子ども食堂の活動等を中心に人権問題・人権教育一般	子どもの人権		・行政職員 ・教職員 ・一般市民
城南	11月12日	講演会	水俣病患者家族に生まれて	杉本 肇さん (水俣病資料館「語り部」)	水俣病発生当時の様子や家族について、及び水俣病問題一般について	水俣病をめぐる人権		・行政職員 ・教職員 ・一般市民

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
城南	2月12日	講演会	「来民開拓団の真相」に学びながら、「開拓慰霊祭のころ」を受け継ぐ子どもたち	森山英治さん (旧満州来民開拓団遺族会会長・熊本県人権教育研究協議会顧問)	部落差別の現実に関し、反差別のなかまづくりにつなげていく。	同和問題		・行政職員 ・教職員 ・一般市民
城南	7月10日	講演会	ハートフル講演会	三枝三七子さん	水俣病の学習を通して環境問題、人権問題について調べたり、考えるきっかけとする。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	杉上小学5年生31人、保護者、教職員及び杉上小校区住民
城南	11月11日	講演会	ハートフル講演会	三枝三七子さん	水俣病の学習を通して環境問題、人権問題について調べたり、考えたりするきっかけとする。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	隈庄小学5年生123人、保護者、教職員及び隈庄小校区住民
城南	5月14日 ～ 7月2日 (8回実施)	講座	傾聴講座	日高治代さん (傾聴ネットキーステーション)	相手に寄り添い、言葉を傾け、プラスに評価しながら話を聞くことを学ぶ。	その他		熊本市民
城南	9月6日 ～ 11月1日 (8回実施)	講座	手話入門	田中みさ代さん (熊本県手話サークルわかぎ宇城グループ)	初心者向け手話講座	障がい者の人権		熊本市民
龍田	7月9日	講演会	おでかけ公民館講座 水俣病をめぐる人権問題についての学習 (龍田小学校)	三枝三七子さん (絵本作家)	水俣との出会いにふれながら「みなまたの木」の朗読をとおして、水俣病についての理解を深める。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	龍田小学5年生児童及び教職員(107人)
龍田	11月20日	講演会	おでかけ公民館講座 私はあなたのために 何ができるでしょうか。 (武蔵中学校)	新本高志さん (ケーキ屋)	自身の体験をもとに、差別とは何か、人権とは何かについての講話を通して、人としてどう生きるのかについて理解を深めた。	人権全般		楠中学校全校生徒及び教職員(367人)

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
龍田	令和7年 2月1日	講演会	人権教育講演会 笑いは心の栄養 ～笑顔でつなご心の絆～	粗忽家勘心さん (ひなたの会)	普段の暮らしや身近な人との関わりを通して人権を大切にすることに焦点を当てる。落語の語りで楽しく気づき、学ぶ機会とする。	人権全般		どなたでも(予定)
龍田	令和7年 2月5日	講演会	おでかけ公民館講座 ストリートチルドレン の生き方に学ぶ (武蔵中学校)	寺本真将さん (MASA FREE SCHOOL)	ストリートチルドレンとの出会いを通して、日常の当たり前と思うことは当たり前ではないことへ意識を高める。	子どもの人権	人権教育指導室	武蔵中2年生生徒及び教職員(113人) (予定)
龍田	5月17日	講座	主催講座 はじめての手話	小野康二さん	手話の初心者を対象に、手話についての基本的な方法について学習する5回講座。	障がい者の人権		18歳以上の方(高校生不可)10人
龍田	6月21日	講座	おでかけ公民館講座 手話指導と交流 (武蔵小学校)	小野康二さん 渡邊百代さん	聴覚に障がいを持つ方と講師の2人で講座を行い、小学生に手話の魅力を伝え、自分の名前を手話で表現する体験をした。	障がい者の人権		武蔵小学校4年生児童及び教職員(59人)
龍田	6月25日	講座	おでかけ公民館講座 手話指導と交流 (楠小学校)	小野康二さん 渡邊百代さん	聴覚に障がいを持つ方と講師の2人で講座を行い、小学生に手話の魅力を伝え、自分の名前を手話で表現する体験をした。	障がい者の人権		楠小学校4年生児童及び教職員(43人)
龍田	11月22日	講座	主催講座 心に寄り添う傾聴	岩崎静香さん (傾聴ボランティア熊本)	よりよい人間関係が必要な生活場面において、望ましいコミュニケーションが実践できるよう基本的な技法を学ぶ。全4回の講座	高齢者の人権		18歳以上の方(高校生不可)7人
清水	10月10日	講演会	ハートフル講演会 「水俣から未来へ」	杉本 肇 さん (水俣市環境マイスター) (語り部／漁師)	水俣病の学習を通して環境問題、人権問題について調べたり、考えたりするきっかけとする。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	高平台小学校5年生教職員、地域住民

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
北部	5月21日	講座	ハートフル学習ルーム 「いれずみ」に対する日本人の まなざしについて	小野 友道さん (皮膚科学・皮膚腫瘍学 元熊本保健科学大学学 長)	いれずみはいつ、どこで始 まったのか、日本ではいつか ら始まったのか、いれずみを入 れる意味や理由、時代による いれずみの価値観の変化、 いれずみを入れると社会生活 で困ることがあるのか、いれ ずみは身体にダメージがある のか、いれずみ除去、いれず みに対する日本人のまなざし について等について話を聞いた。	人権全般	旅のよろこび 株式会社	どなたでも
北部	6月1日	講座	手話講座	福田 九さん (手話講師) 森 米子さん (手話通訳)	手話の体験を通して、手話に 対する興味や関心を高めるこ とができた。	障がい者の人権		どなたでも
北部 植木 清水 龍田	6月16日	講演会	熊本市北区公設公民館 (植木・龍田・清水・北部) 合同人権啓発講演会 中村哲医師が命がけて私たちに 教えてくれたこと — 平和そして人の道 —	高世 仁さん (ジャーナリスト)	ペシャワール会の中村哲医師 がアフガニスタンでの活動の 中で、私たちに命がけて教え てくれたこと「平和そして人 の道」について参加者一人ひ とりが自分のくらしと重ねな がら考えていく良い機会と なった。	人権全般	熊本市人権啓発市 民協議会 旅のよろこび 株式会社	どなたでも
北部	7月30日	講座	ハートフル学習ルーム 場面緘黙の世界 ～話せない理由、話します～	小西佳太さん (場面緘黙経験者)	場面緘黙とは、どんな状態な のか、どんな症状なのか、後 遺症等、当事者の経験談を聞 き、どんな風に接すればよい のかを学んだ。 ※場面緘黙とは、他の状況で 話しているにもかかわらず、 特定の社会的状況では話すこ とが一貫してできない状態の 事。	障がい者の人権	旅のよろこび 株式会社	どなたでも

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
北部	9月29日	講演会	北部公民館人権啓発講演会 「来民(くたみ)開拓団の惨劇から 問う国策と差別」	エイミー・ ツジモトさん (フリーランス国際ジャー ナリスト)	戦時中、熊本県山鹿市来民の 出身者を中心とした満蒙開拓 団を取り巻く国策と「部落」 差別、276人の子どもや女 性、老人たちの集団自決等に 焦点を当て、熊本県民として 過去の惨劇を知り、平和への 願いなどの話を聞く中で、参 加者一人ひとりが、自分の事 と重ねながら考えていく良い 機会となった。	同和問題	熊本市人権啓発市 民協議会	どなたでも
北部	11月21日	講座	ハートフル学習ルーム ありがとうフルネス ～心をありがとうで満たす メディテーションデウス～	岩本光弘さん (ヨットセラー)	ありがとうフルネスとは、心 に感謝の気持ちを取り入れた メディテーション。日常の中 で感謝の力を体験し、困難や 苦難に立ち向かう勇気と希望 を与えることを目的としてい る。全盲のヨットセラーとし て太平洋横断に成功した経 験談等を通して、参加者一人 ひとりが困難や苦難に立ち向 かう勇気と希望を感じることが できた。	障がい者の人権	旅のよろこび 株式会社	どなたでも

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
北部	12月10日	講演会	熊本市北部公民館主催 おでかけ公民館講座 ハートフル講演会 「水俣の海で命と出会いを」	森下 誠さん (ダイバー)	水俣に生まれ育たれた講師の 生きざまを語られる中で、 「水俣病」と向き合い、差別 と向き合い克服していかれ、 ふるさと水俣を誇れるように なられる。現在はダイバーと して水俣の海に潜り続けられ ており、「ヒメタツ」という タツノオトシゴの新種の観察 を通して、再生した水俣の海 の生き物の「命」を守り育む という視点でも話をされた。 参加者一人一人が自分のくら しと重ねて、しっかりと学習 できた。	水俣病をめぐる 人権	熊本市人権教育 指導室	熊本市立西里小学校 5年生児童、 教職員、保護者、地域 住民
北部	12月11日		熊本市ラブミン人権啓発作品展		幼稚園の部「ねえねえせん せい」特別賞、小学生・中 学生 の部の「短いメッセージ」、 詩の最優秀賞、絵・ポスター の部の最優秀賞、優秀賞の 展示	子どもの人権	熊本市人権教育 指導室	どなたでも
北部	1月21日	講座	ハートフル学習ルーム 化学物質過敏症と、これからの 地域社会 ～誰もが安心して"呼吸"のでき る 社会を目指して～	今村 良さん (化学物質過敏症患者 会くまもとCSの会共同 代表、化学物質過敏症 (CS当事者))	化学物質過敏症とは？、「避 難所で空気が吸えない」熊本 地震で浮き彫りになった問 題、増加する新規患者と山積 する課題、環境病とも呼べる 病気に社会としてどう向き合 うことができるか等、上記の 事を当事者から聞き、どんな 風に接すればよいのか等を学 んだ。	難病等をめぐる 人権	旅のよろこび 株式会社	どなたでも
北部	2月26日	講座	ハートフル学習ルーム 人はいつからでもやり直しが 出来る	青木康正さん (NPO法人オリーブの家 理事長)	刑期を終えた元受刑者の皆 さんに対し、社会復帰に向けた 指導や援助を行っているNPO 法人オリーブの家の活動の様 子や現状の話をお聞きする。	刑を終えて出所 した人等の人権	旅のよろこび 株式会社	どなたでも

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
植木	10月9日 (水)	講演会	おでかけ公民館講座 「長崎原爆被害者のお話 いま私が伝えたいこと」	浦田藤枝さん	被爆後の暮らしや家族の大切さについての講話	その他	人権教育指導室	対象:菱形小学校6年生、保護者
植木	10月23日(水)	講演会	おでかけ公民館講座 「長崎原爆被害者のお話 いま私が伝えたいこと」	工藤武子さん	当時国鉄職員として長崎市内で勤務されていた深堀弘泰さんの体験を紙芝居にしたものを見聞きし、平和の尊さを学ぶ。	その他		対象:山東小学校6年生
植木	11月7日(火)	講演会	おでかけ公民館講座 「みんなと同じだったり、ちがったりでも一人しかいない大切な私」	横田久世さん	両足と手の指を失いながらも「筆師」として執り続け作品を制作すると同時に、競技用義足を装着して国内外のマラソン大会に挑戦している横田さんの常に前向きな生き方に触れることで、自分と重ねながら考えていく機会とする内容。	障がい者の人権		対象:吉松小学校5年生、6年生、保護者
植木	7月10日(水)	講演会	おでかけ公民館講座 「みなまたから学ぶ」	杉本 肇さん (水俣市立水俣病資料館語り部副会長)	家族が水俣病と診断され、病気との戦い、原因企業との闘い、差別との闘いの中で、家族のことや杉本さん自身が考えたこと、引き裂かれる集落ともやいなおし、差別のつらさなどをお聴きして、なぜ、水俣病の学習するのか考える内容。	水俣病をめぐる人権	人権教育指導室	対象:田原小学校5年生、保護者
植木	6月27日(木)	講演会	おでかけ公民館講座「こどもの人権について」	坂口 明夫(社会福祉法人 甘木山学園理事)	被害児や里子として7つの家庭で育った経験を含め、こども達を支えるため「連携」「協働」のあり方、「発達障がい」「社会的養護」の理解を深め、子どもの虐待防止に向けた講話内容。	子どもの人権	人権教育指導室	対象:田底主学校全児童、保護者
植木	10月25日(金)	講演会	おでかけ公民館講座 「世界のこども達について学ぼう」	寺本真将さん (NPO法人 MASA FREE SCHOOL 理事長)	世界のストリートチルドレンや難民、過酷な児童労働をすることもたちの生き方や想いを聞き、自分たちの環境や数多くの当たり前が、決してこの世界では当たり前ではないことを知る内容。	こどもの人権	人権教育指導室	対象:菱形小学校5年生、6年生、保護者

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等 の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
植木	10月29日(火)	講演会	おでかけ公民館講座 「世界のこども達について学ぼう」	寺本真将さん (NPO法人 MASA FREE SCHOOL 理事長)	世界のストリートチルドレンや難民、 過酷な児童労働をすることもち の生き方や想いを聞き、自分たちの 環境や数多くの当たり前が、決して この世界では当たり前ではないこと を知る内容。	こどもの人権	人権教育指導室	対処:桜井小学校6年 生、保護者
ふれ文	R6.8.1	講演会	ふれあい文化センター教養講演 会	社会教育主事 眞谷和代	ふれあい文化センターの設立意義	人権全般	ふれあい文化セン ター	地域住民
ふれ文	8月1日	講演会	ふれあい文化センター教養講演 会	熊本県原爆被害者団体 協議会 工藤武子さん 原田俊二さん	戦争・原爆を体験して	原爆被害者等の 人権	ふれあい文化セン ター	地域住民
ふれ文	7月29日 ～8月1日	講座	「原爆と人間」パネル展	なし	パネル展	原爆被害者等の 人権	ふれあい文化セン ター	地域住民
ふれ文	9月27日	講座	ふれあい文化センター出前講座	社会教育主事 眞谷和代	マイクロアグレッションについて	人権全般	大和地区社会福 祉協議会 ふれあい文化セン ター	大和地区社会福祉協 議会員と地区の高齡 者
ふれ文	10月10日	講演会	ふれあい文化センター教養講演 会	水俣語り部 杉本 肇さん	水俣から未来へ	水俣病をめぐる 人権	ふれあい文化セン ター	地域住民
ふれ文	10月22日	講座	ふれあい文化センター出前講座	社会教育主事 眞谷和代	自分も相手も大切にするトークスキ ル	その他	春竹小学校 ふれあい文化セン ター	春竹小1～3年生

令和6年度 人権教育・啓発関連 「講演会」・「講座」等の実施状況（予定も含む）

館名	期日 (複数回の場合初回)	種類 (リスト)	講演会名「演題」・講座名	講師(所属等)	内容	人権課題 (リスト)	共催等	備考 (対象・その他)
ふれ文	11月12日 ～11月29日	講座	ふれあい文化センターかけはし ウィーク	フィットネス インストラクター 高戸里美さん 絵手紙講師 阿部貴美子さん 真和中・高専任教师 戸田俊文さん フリースクール代表 寺本真将さん 熊本市社協中央区事務 所職員	コミュニケーションダンス 絵手紙ほっとステーション ネット社会をかしこく豊かに生きる ために ストリートチルドレンの生き方に学ぶ e-スポーツ 人権作品展示	人権全般	本荘小学校 春竹小学校 江原中学校 ふれあい文化セン ター	本荘小・春竹小・江原 中 児童生徒教職員 地域住民
ふれ文	12月13日	講座	ふれあい文化センター出前講座	社会教育主事 眞谷和代	やさしい日本語	その他	春竹校区民生委 員児童委員協議 会 ふれあい文化セン ター	春竹校区民生委員児 童委員協議会
ふれ文	令和7年 2月7日 (予定)	講座	ふれあい文化センター文化祭 (映画観賞会)	なし	破戒	同和問題	ふれあい文化セン ター	地域住民